

前回（第3回検討会議）

参考資料

4 新施設に求める条件(例)

	名称	広さ	設置物にかかる条件	使用にかかる条件	設置階	トイレ
1	避難スペース (690人分)	1,578㎡以上 〔・複数箇所設置による面積確保も可 ・上記のうち、他と区画を分けて、以下のスペースを設けること ・救護所 (64㎡以上) ・福祉避難室 (64㎡以上) ・療養スペース (64㎡以上)〕	可動式の物品のみ設置可 (机、椅子等)	【災害時】 ・開放 【平常時】 ・防災訓練時に開放 (2回程度/年)	浸水想定を上回る高さとする ※ただし、なるべく低層階であることが望ましい	必要
2	避難所運営事務所スペース	64㎡以上				
3	備蓄倉庫	床面積64㎡ 天井高2.8m 相当の容積以上	—	—		—

- ・1、2は通常は事業者が活用し、条件に該当する場合に開放。3は事業者の活用を不可とする
- ・3は1、2から近い場所に設置すること
- ・インフラは、電気、ガス、水道、Wi-Fiを確保すること（災害時に地域・本市が使用。使用料は基本的に本市負担）
- ・1、2には空調設備を設けること

1

今回（第4回検討会議）

■防災・避難所スペースについて

	名 称	広 さ	設置物にかかる条件	使用にかかる条件	設置階	トイレ
1	避難所 スペース (690人分)	避難者居室 1,322㎡以上 その他 スペース 64㎡以上の4室	可動式の物品のみ設置可 (机、椅子等)	【災害時】 ・開放 【平常時】 ・防災訓練時に開放 (2回程度/年)	浸水想定を踏まえ GL50cm以上の高さ とすること ※ただし、なるべく低層階であることが望ましい	必要 ※男性用・女性用各7基以上（洋式）、バリアフリートイレ2基以上 ※避難所スペースから容易にたどり着ける場所に設置すること ※バリアフリートイレは各階に1基以上設置することが望ましい
2	避難所運営事務所スペース	64㎡以上の1室				
3	備蓄倉庫	床面積64㎡ 天井高2.8m 相当の容積以上の1室	—	—		—

- ・1、2は通常は事業者が活用し、条件に該当する場合に開放。3は事業者の活用を不可とする
- ・3は1、2から近い場所に設置すること
- ・インフラは、電気、ガス、水道、Wi-Fiを確保すること（災害時に地域・本市が使用。使用料は基本的に本市負担）
- ・1、2には空調設備を設けること
- ・1～3のほか、一時避難場所として災害の危険がおよばない屋外に2,330㎡以上を確保すること

2